



【様式1】外国人の子供等の就学に関する検討会ワーキンググループ①に係るICT活用事例

|                |  |
|----------------|--|
| 校種・学年          | 中学校・第1学年～第3学年  |
| 教科・単元名等        | 国語科・「なかまを もっと しろう」<br>教科の目標：日常生活から集めた情報を整理し伝えたいことを明確にすることができる。<br>日本語の目標：母文化について基本文例を使って分かりやすく書くことができる。  |
| 事例の概要          | 外国語を母語・継承語とする学校内外の生徒同士がオンラインでつながり、共通の課題を解決し合う。   |
| 学習展開           | <p>1 学習課題をつかむ</p> <p>○自分の母国の文化について分かりやすくポスター（文章や画像で構成）を作成し伝えるという課題をつかむとともに、個別の目標やポスターの主題を自らつかむようにする。</p> <p>○インターネット上に整えた検索、翻訳、データ作成・共有のツールを生徒一人ひとりが活用し、日本語で課題解決ができるようにする。</p> <p>2 各自で課題に取り組む</p> <p>○検索や翻訳等のツールを活用し、日常生活上の情報を収集したり整理したりすることができるようにする。</p> <p>○生徒一人ひとりが学びに向き合い、多様な学び方（調べ方・集め方・整え方・伝え方等）を追究できるようにする。</p> <p>3 互いの考えを交流する</p> <p>○ポスターをタブレットや電子黒板等で発表し交流する場を設け（中間発表会・本発表会・適時の小発表会等）、認め合いや学び合いを深めるようにする。（図1）</p> <p>○日本語で伝えたり思考したりすることが難しい場合は翻訳ツールや母語話者である支援助手を通して母語を補助的に使うことができるようにする。</p> <p>4 振り返る（つなぐ）</p> <p>○外国語を母語・継承語とする生徒が自らのポスターを改善できるようにする。</p> <p>○外国語を母語・継承語とする生徒と日本語を母語・継承語とする生徒が学び合うことができるようにする。具体的に、作成したポスターについて次のア～ウの工夫を行う。</p> <p>ア、在籍学級や学校行事等の場で発表する。</p> <p>イ、学校図書館等と連携し全校生徒が閲覧できる場に展示し交流を促す。</p> <p>ウ、上記ア～イの様子をオンラインで伝え合い、学びを深め合うようにする。（図2）</p> |
|                | <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>図1[活動の様子]</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>図2[タブレットの画面]</p> </div> </div>   |
| 活用したアプリ<br>機器等 | GoogleLLC「Google for Education」「検索」「翻訳」<br>一人一台ICT端末（Google Chromebook tablet）   |
| ICT活用の効果       | <ul style="list-style-type: none"> <li>日本語を学ぶのみならず、日本語で課題の解決をするための学び方（調べ方・集め方・整え方・伝え方等）も学ぶことができ、「分かった」「できた」等、自信を持って学びに向かうことができていた。</li> <li>仲間と認め合い学び合うことができ、「伝わった」「認められた」等、自信を持って学びに向かい合うことができていた。</li> </ul>   |
| 生徒の感想          | <ul style="list-style-type: none"> <li>自分が実践したこと全てについて話し、可能な限り理解しようとすることができました。よく読むことができるようになりたいと思います。（翻訳ツールを活用して表現）</li> <li>自分の意見をみんなに伝えて良かったと思いました。</li> </ul>  |